

※一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります。

永井 繁樹 議員

幕別町独自の指定管理者評価制度の創設を



幕別町が行うべき

事業評価のあり方について研究・整理をし、早急に幕別町独自の指定管理者評価制度の創設をすべきと考える。町長の考えを伺う。

ける。

(ウ) サービスの提供状況や、事業内容、施設の管理状況、収支の状況などの評価は部会が施設ごとに行う。

④ 評価制度の流れについて。

(ア) 幹事会による2次評価の実施と審査会への報告。

(イ) 審査会による所管部課へのヒアリングや施設の視察調査の実施、施設管理の状況と改善の方向性をまとめ町長に答申する。

(ウ) 町長はその答申をもとに、よりよい施設管理に向けて必要な改善措置を実施する。

⑤ 事業評価に係わる各実施主体の役割について。事業評価のための指定管理者の役割や、自治体の役割、第3者の役割についてどのように考えているのか。

⑥ 事業評価に用いるデータについて。指定管理者が提出する事業報告書や、自治体の職員が行う現地調査情報、利用者

の施設運営に関する評価について、どのような認識と考えを持っているのか。

町長

① 指定管理者が行う管理運営に対し、的確な評価を行う必要性がある

と考える。

どのような手法があるか、先進事例等の研究をしたい。

② 現時点では指定管理者制度導入施設の評価を確実に

行っていくことが肝要と考えており、指定管理者制度

の評価が一定程度確立してから、公共施設全般を対象

とした評価のあり方について研究したい。

③ (ア) 指定管理者制度の円滑な導入及び効果的な活用を図ることを目的に、部・課長職で構成する検討

委員会を設置しており、公の施設の管理運営状況の評

価を幅広い視点から検討できると思っている。現時点

では、これら検討委員会が評価を行うということも一

つの方法と考える。

(イ) 評価を効率的に行うということから、部会の設置の必要性が生じた場合に位置づける考えでいる。

評価に必要とする資料等が生じた場合やヒアリングの必要性がある場合などは、各施設を所管する担当部局は当然しかるべき対応をすると考える。

(ウ) 各施設の担当部局は、通常、日常業務の中で指定

管理者の業務の履行の確認や指導を行っており、基本

的には、第1次の評価を行うことが適当と思っている。

④ 第2次評価は、検討委員会

が第1次評価の結果及び資料等に基づき、必要に応じて

現地視察や指定管理者からのヒアリングなども実施

することにより行うというのも一つの方法と考える。

今後、研究を深めていきたい。

⑤ 指定管理者は、町が評価

を客観的に行えるよう、事業報告書を提出することや、

利用者の思いや評価を把握し、自ら評価をすることも

役割の一つと考える。

自治体は、事業報告書等により事業内容の履行確認や分析などを行ったうえで、利用者からの苦情・要望などの声の把握に努めて客観的な評価をし、その結果を

管理運営の指導面で生かし、制度の改善等を図ることと考える。

第3者は、利用者の立場、町民の立場から指定管理者

または町に対して要望等を伝えることが考えられる。

⑥ 指定管理者から提出される事業報告書や、必要に応じ事業報告書を補完する資

料を求めることもあると考える。町としてアンケート

調査を実施し、利用者の声・評価をデータの一つと

することも考えられる。



指定管理者制度で運営される百年記念ホール